

年頭あいさつ

公益社団法人 日本監査役協会

会長 太田 順司

皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお
願い致します。新年にあたりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

簡単に昨年を振り返ってみますと、ロンドンオリンピックでの日本選手の活躍や、iPS細胞で山中教授がノーベル生理学・医学賞を受賞するといった明るい話題もありましたが、長引く景気の低迷や海外諸国の不安定な情勢など、日本企業にとっては非常に厳しい一年でした。

昨年末には民主党から自民党への政権交代がありましたが、税制・社会保障の改革、原発、TPP参加の是非、景気の回復といった、まったなしの問題が山積していることには変わりはなく、今年の展望も不透明な状況にあると言えるのではないのでしょうか。

また、経済界、産業界を俯瞰致しますと、企業収益の回復は業界毎の跛行性はあるものの総じて回復過程にあるとは言い難く、新たな海外戦略の構築や国内基盤の見直しなど、企業集団の有様がかつてない程、問われている現状にあります。こうした状況におきまして、ガバナンスの一翼を担う私ども監査役に求められていることは、加速化する企業情勢の変化や社会環境の変化の中にあつて、内部統制の整備こそが基本であるとの認識に立ち返り、土台をしっかりと固めていくことにあると思われま

監査役の皆様はその役割を果たしていただくため、当協会では様々な取り組

みを行っていますが、新年を迎え、私から3つの取り組みについて申し上げたいと思います。

1つは、会社法改正への対応です。昨年は法制審議会で「会社法制の見直しに関する要綱」が取りまとめられました。多重代表訴訟制度の導入や社外要件の厳格化、監査・監督委員会設置会社の導入等、監査役制度に関連する多くの事項が盛り込まれた改正会社法の法案が、今年の通常国会に提出され、早ければ夏前には成立するとの声もあります。その後、施行規則等の関係省令が改正されることとなりますが、今回は事業報告への開示等施行規則に委ねられる重要事項が数多くあります。施行規則等の関連省令を含む改正会社法が施行されるのは来年以降になろうかと思いますが、協会としましては、改正会社法の下で会員の皆様が適切に職責を果たせるよう必要な情報発信をしていきたいと考えております。

具体的には、月刊監査役、全国会議、研修会等で取り上げ、改正動向をお知らせするとともに、監査役監査基準や監査報告のひな型等の改定により会社法改正後の監査実務の在り方について具体的な指針を示していきたいと考えています。

2つ目は、企業不祥事防止への取り組みです。

昨年は、一昨年に発覚した大きな企業不祥事を受けて、同じようなことが起きることのないよう様々な取り組みを行いました。日本公認会計士協会との共同声明を出し、金商法193条の3への対応をまとめ、またケース・スタディ委員会やスタッフ研究会等において報告書を取りまとめ、そして研修活動も充実させるなど精力的に活動して参りました。全国各地の監査役の方々にも研修の機会を提供することを目的として「新任監査役ガイド」解説会の動画配信も開始しておりますことはご存知のとおりです。

今年も引き続き各種報告書の取りまとめ等、皆様の実務に役立つ情報を提供

して参りたいと考えております。皆様も、改めて、健全な懐疑心を持ち続けながら職務にあたっていただきますよう、心よりお願い申し上げます。

3つ目は、発信力の強化です。監査役制度に関する積極的な発信についても、昨年同様力を入れて参ります。まずは、投資家等を含め、監査役制度に対する海外における理解を広めるべく、昨年定めた監査役等の新たな英文推奨呼称の普及に、引き続き努めて参ります。監査役が取締役会と協働して監督機能を果たすということを明確にした呼称を利用することで、監査役に対する理解が進むことを期待しています。そして、先ほど開催した理事会において私ども日本監査役協会の英文表記も変更することと致しました。「Japan Audit & Supervisory Board Members Association」です。略称は「JASBA」として浸透させていきたいと思っております。

この「監査役等の英文呼称」、そして英訳版の「監査役／監査役協会の理念」と間もなく完成する「監査役制度の説明資料」を3点セットとして、海外に向けた監査役制度の理解促進活動に取り組みたいと考えております。

本年も、監査役を取り巻く環境は変化し続けますので、課題に着実に取り組んでいかねばなりません。社会環境は、我々監査役への期待の一環として、監査役への権限の付与を認めると同時に、その責任の果たし方を求めています。会員の皆様には、従来以上に、監査役の責任という観点から、一層のご活躍を期待するものですが、協会自身、精力的に活動を行い、協会員に役立つ活動を行っていかねばなりません。ご支援ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

本年も何卒よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

(平成25年1月11日 当協会 新年賀詞交歓会にて)